

# 受験放浪記

東京大学 理科二類合格（磐梨中学校、磐梨小学校出身）

## <まずはじめに>

この度、一浪を経て東京大学理科二類に合格しました。自分は他の東大合格者のように優れた才覚の持ち主でもなければ、休日に10時間以上勉強するような努力家でもありません。4年間マイペースに半端な勉強をして運良く東大に受かった人。それが自分です。もし自分の受験記を読む人がいましたらその程度の人間が書いたものだということを理解して一つの具体例として読み流してくれると幸いです。

## <自分の受験生活>

### \*学習習慣

やる気に満ち溢れ精力的に勉強をしていた時期と無気力で最低限の課題をすることもままならなかった時期を4年の間ずっとループさせて過ごしていました。成績が危機感を抱くほど下がるまで無気力な状態が続き、その後やる気を出してある程度、成績を上げるといった具合です。このような学習習慣でしたので継続的な努力が求められる英語には最後まで苦しめられました。

### \*最も苦しかった時期

自分がこの4年間で最も苦しかった時期は高校3年の受験直前期（12月～2月）だったと断言できます。今まで逃げてきたことへの制裁を受けた時期でした。志望を変えないで絶対に受からない確信があった（秋の冠模試 all E 判）東大を受けようとしていることに罪悪感を感じながら勉強をしていました。本当に今、考えてもみても自分は異常だったと思います。ただこの4年間の中でこの受験直前期は自分に一番向き合えた時期だったと思います。自分は本当に東大に行きたいのか、自分のどういうところがダメなのかと言うところを否応なく考えさせられて手遅れながらももがき苦しみました。精神的にかなり堪えました。ただ逆に言えばこの程度しか辛い時期は無かったですし、この受験直前期にしたって無理に東大を受けた自分のわがままによって苦しんだ自業自得な面があるので今振り返ると他の東大合格者に比べて自分はかなり楽な生活を送っていたように思います。

## <最後に>

冒頭で自分は運で東大に入ったと言いましたがその運の中には自分が過ごすことを許された環境も含まれています。自分がなんとか東大に合格するように支えてくださった両親や先生方をはじめとするすべての皆様に感謝しております。この気持ちをいつかはっきり示せるように大学で学問に励むつもりです。ご精読ありがとうございました。